

一般助成 子どもの健やかな成長を願う事業(やすらぎ・いたわり)

「もしものときに子ども達を救いたい!『子ども&中高生SOSリーフレット制作プロジェクト』」事業

小中学生が性被害にあわないための知識や対応策を記載した、わかりやすいリーフレットを制作・無償配布

性暴力や性被害に関するニュースが報道されているのをよく見かけるが、子どもがその犠牲になった場合、測り知れない影響を心身に被ることになる。これまで子どもたちに命の大切さを伝え、自尊感情を育むための活動に取り組んできた「誕生学協会」では、子どもたちが性被害にあわないためのリーフレットを制作し、全国の小中学校に配布した。



AJOSCの助成で制作した「大切なあなたへ」[大切な心とからだの守りかた]

性犯罪や性被害に「あわない」ための予防と「あってしまった」ときの対応策をまとめる

「公益社団法人誕生学協会」では、子どもたち一人ひとりが自らの命や体を大切に思う心を育て、自己肯定感や自尊感情を高めるとともに、妊娠や出産に対する正しい知識の提供・普及、さらに、未来の少子化対策にも貢献するという考えのもと、10年以上にわたって全国の学校からの依頼を受け、毎年1,000講座近い「誕生学スクールプログラム」を実施してきた。

また、2016年度にはAJOSCの助成を受け、中高生の予期せぬ妊娠や中絶、デートDV、性被害などを予防し、性と心、体を守るための授業「ガールズエンパワメントプロジェクト」をスタートさせるとともに、もしものときの助けとなる全国の相談窓口を紹介した実践的な情報冊子を制作し、授業を受けた女子生徒に配布した。

さらに2017年度、誕生学協会では再びAJOSCの助成を活用して、小中学生が性被害にあわないための知識や、もしものときの対応策、保護者の心得、緊急連絡先などを記載したリーフレット『大切なあなたへ「大切な心とからだの守りかた」』(A4/4ページ、カラー)を制作し、日頃から性犯罪や性被害について関心を持ち、学校や家庭で話題にしてもらうために、全国の小中学校や関係団体に無償配布した。

「警察関係者が作成し、実際に配布しているものを了解を得たうえで活用させていただき、新たに編集したもので、誕生学スクールプログラムやガールズエンパワメントプロジェクトを実施した学校を中心に、希望があったところに配布しています。昨年度は約500校、18,000名にお届けできました」と、事務局を務める安齋和子さんは話す。

何を大切に、どうやって助けを求めらるかを子どもたちにわかりやすく示したリーフレット

『大切なあなたへ』を制作・無償配布する背景にある思いを、安齋さんは以下のように話す。

「毎日のように性暴力や性被害による悲惨なニュースが伝えられ、またニュースにならなくても、デートDVによる悩みや引きこもり、さらに親族や教師などからの性虐待が、残念ながらどこかで確実に起こっています。子どもたちは、こうした悲劇や事件が自分の身に起きたとき、為す術を知りません。家族や友だちにも言えず、心を痛め、大人になるまで長い間苦しみ続けることも多いです。それを学校側が未然に防ぎ、適宜、救いの手を差し伸べることも現実的には難しい状況です。さらに子どもたちは緊急時や困ったときに他者に助けを求めることがなかなかできないという現実があります」

そうした子どもたちが悲惨なことに直面したとき、いつ、どこに(誰に)、どうやって助けを求めたらいいのかをわかりやすく示す包括的なSOSカード(リーフレット)として、『大切なあなたへ』を制作したという。「子どもにわかりやすいように、表現方法を工夫し、プライベートゾーン(水着を着て隠れる部分、口)の大切さ、日頃から気をつけること、被害にあった自分を責めないこと、まわりにいる大人が気をつけるべきこと、性被害にあったときの連絡先などが記載されている。

また、同協会では今回の助成を活用し、主に中高生が性に関する知識・情報・感覚を身に付け、自身の持つ生きる力への気づきを促すウェブ検定『SHE(Sexual Health Education)検定』を性暴力撲滅に向けた啓発活動を手掛ける「NPO法人しあわせなみだ」と協働開発。そのサイトを2018年2月に立ち上げている。



性に関する正しい知識・情報についての問題をときながら理解できる「SHE検定」<http://she.shiawasenamida.org/>

助成団体: 公益社団法人 誕生学協会

<http://www.tanjoh.org>



やがて母や父になる子どもたちに命の大切さを伝えたい

虐待やいじめ、不登校や引きこもり、貧困の連鎖など、子どもたちを取り巻く環境が悪化する中で様々な支援が展開されていますが、その基本には子どもたち自身が自尊感情を高めるにはどうすればいいかという視点が欠かせません。そのために心、体、性を含めた自分の命を大切にすることの重要性を今後も私たちの活動を通して訴えていきたいと思っております。

公益社団法人 誕生学協会
代表理事 大葉ナナコさん